

## 令和 7 年度後期 教職課程ガイダンス（3 年生）関係資料

教員免許取得希望の学生は、9 月 10 日（水）12：30 から実施する「教職課程ガイダンス」に参加してください。

資料番号等	資料名
資料 1	教職履修カルテの入力について
資料 2	履修カルテ 操作説明書（HP 掲載のみ）
資料 3	教育実習について
資料 4	教職課程履修要件内規について
資料 5	事前事後指導スケジュール

### 教職履修カルテの入力について《重要》

履修カルテは、教員免許状の取得に必要な科目の修得状況のほか、教職履修上の課題や課題達成状況などを、みなさんに記入していただくためのものです。そのため、教職課程を履修する全学生が必ず行う必要があります。HP掲載の「履修カルテ 操作説明書」に従って、UNIPA上で、下記の期間中にを入力を完了させてください。入力していないと4年生後期開講の「教職実践演習（中・高）」が受講できなくなります。また、教職課程履修願を未提出の場合は入力できません。

特に4年生は、後期の「教職実践演習（中・高）」受講要件となりますので、新規に入力事項がない場合でも、改めて内容の確認をして、必ず確定ボタンを押してください。

なお、入力方法等、不明な点は教務課へお尋ねください。

#### 記

#### 【入力について】

①入力要領については、HP掲載の『履修カルテ 操作説明書』で確認して入力してください。

②教職履修カルテの入力項目は以下の5つです。自己を振り返って、入力を行ってください。

科目等履修生も入力が必要です。

なお、記入が必要な全項目について、前年度分などに未入力の箇所がある場合は、速やかに入力してください。4年生になってまとめて入力することにならないように、留意してください。

1	目標設定	今年度前期の履修カルテ入力期間に入力していない場合は、現在の学年欄について、今年度の目標を入力してください。 なお、科目等履修生は、1年次の欄に記入してください。
2	資格関連科目 修得状況	今年度前期を振り返って、入力してください。 なお、科目等履修生は、画面に科目の掲載がある場合、記入してください。
3	学外活動に関する記録	今年度前期を振り返って、入力してください。特に書くことがない場合は、記入の必要はありません。 なお、科目等履修生も同様です。
4	必要な資質能力についての自己評価	<p><b>【1年生】</b> 来年度前期に今年度分を振り返って入力します。（今回は、この項目に関して入力不要です。）</p> <p><b>【2・3年生】</b> 今年度前期の履修カルテ入力期間に入力していない場合は、前年度分（前の学年）を振り返って、入力してください。（現2年生は、1年生の欄に入力。現3年生は2年生の欄に入力すること。）</p> <p><b>【4年生】</b> 今年度前期の履修カルテ入力期間に入力していない場合は、前年度分（前の学年）を振り返って、入力してください。（3年生の欄に入力。） また、4年生前期を振り返って4年生の欄に入力してください。</p> <p><b>【科目等履修生】</b> 今年度前期の履修カルテ入力期間に入力していない場合は、前年度分（前年度）を振り返って、入力してください。（1年生の欄に入力）</p>
5	教職を目指す上での課題・対策	<p><b>【1～4年生及び科目等履修生】</b> 今年度前期の履修カルテ入力期間に入力していない場合は、今年度分を入力してください。</p>

③入力後は、必ず確定ボタンを押してください。また、一旦ログアウトして、再度ログインして、正しく登録されているか確認してください。

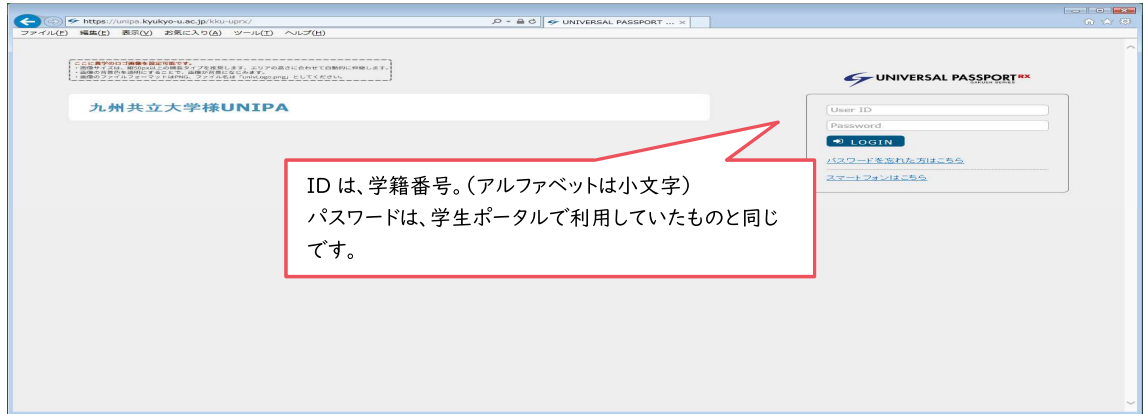
#### 入力期間

9月10日（水）9：00～9月30日（火）23：59

## 履修カルテ 操作説明書

1. UNIVERSAL PASSPORT にアクセスし、ID およびパスワードを入力。

URL⇒ <https://unipa.kyukyo-u.ac.jp/kku-uprx/>



2. 上部のメインメニューの【履修カルテ登録】を選択します。



3.【履修カルテ登録】画面が表示されます。

①『基本情報』タブを押下し、『目標設定』エリアを設定します。

提出受付中

[提出受付中]になっているときに  
学生は履修カルテの更新が可能です。

PDF/Excel形式で履修カルテの  
ダウンロードが可能です。

一時保存

一定時間画面操作がない場合、ログアウトされ、  
保存を押していない入力内容は破棄されますので  
定期的に一時保存をしてください。

対象学年	学修や卒業後の目標
1年次	
2年次	
3年次	
4年次	
教育実習終了時	

②『資格関連科目 修得状況』エリアでは、プルダウンから資格を選択すると、下部に資格関連科目で修得した科目の一覧が表示されます。

資格関連科目 修得状況

資格 教職希望(経済)

科目	単位数	修得年度学期	担当教員	評価	学修の振り返り
教科 社会・地歴					
経済史	2.0	2023年度前期	新敏 拓生		
教科 社会・公民					
法律学概論 (国際法を含む。)	2.0	2023年度前期	後藤 浩士		
民法 (債権)	2.0	2023年度後期			

・学修の振り返りを入力してください。  
・入力可能文字数は200文字までです。

③『学外活動に関する記録』エリアを設定します。行追加をクリックすると入力エリアが表示されます。

学外活動に関する記録

行追加

活動期間	活動内容/総括
2019/09/02 ~ 2019/09/06	・社会福祉施設にて毎日の食事の世話や、入浴の際の補助を行った。

④『自己評価』タブを押下し、『必要な資格能力についての自己評価』エリアを設定します。

資格プルダウンから資格を選択し、各指標の自己評価を入力します。

基本情報 **自己評価**

必要な資格能力についての自己評価

資格: 教員免許状・スポーツカルテ

A: 目標達成度80%以上 (達成している) B: 目標達成度60%以上80%未満 (達成に近づきつつある) C: 目標達成度40%以上60%未満 (中間的段階である) D: 目標達成度20%以上40%未満 (初歩的段階から進歩) E: 目標達成度20%未満 (初歩的段階)

評価分類	評価項目	指標	1年次	2年次	3年次
学校教育についての理解	教職の意義・役割	教職の意義、理念を理解しているか			
		教育の歴史、教育思想についての素養			
	学校教育の社会的役割についての理解	学校教育の社会的責務、教員の職務内容を理解しているか			
児童生徒に対する責務	教師としての責務	児童・生徒に対する教師としての責務を理解しているか			
	心理・発達論的な理解	児童・生徒を心理・発達論的知識で理解する素養を修得できているか			

以下の項目の自己評価を入力して下さい。

A 目標達成度80%以上 (達成している)  
 B 目標達成度60%以上80%未満 (達成に近づきつつある)  
 C 目標達成度40%以上60%未満 (中間的段階である)  
 D 目標達成度20%以上40%未満 (初歩的段階から一定の進歩がみられる)  
 E 目標達成度20%未満 (初歩的段階)

⑤『教職を目指す上での課題・対策』エリアを設定します。

教職を目指す上での課題・対策

対象学年	教職を目指す上での課題・対策
1年次	
2年次	
3年次	

⑥履修カルテの入力が完了したら【確定】をクリックしてください。

一時保存

○ 確定

一時保存だけでは提出されないため、必ず確定を押してください。

# 教育実習について

教育実習は、教員をめざす学生が教壇に立ち、教員としての業務を体験する実習科目です。通常の実習科目と異なるのは、実習場所が大学内ではなく、外部の中学校や高校で行う点です。そのため、教育実習を履修するために、まず授業体験を受け入れてくれる中学校や高校（以下、実習校）を決める必要がありますが、実習校にとって教育実習は、授業進行の遅れや指導教員の負担につながるなど、必ずしも歓迎できるものではないところがあります。

しかしながら、教員育成という立場から、実際には多くの学校が快く教育実習を受け入れていますので、教育実習を履修する学生は、教員になるという強い意思と実習校に対する感謝の念をもって教育実習に臨んでほしいと思います。

## 【教育実習における留意事項】

実習校は、皆さんが将来必ず教員になることを前提に、実習の受け入れをしています。そのため、実習にあたっては以下のことに留意してください。

### (1) 教育実習先について

実習受け入れは、実習校と九州共立大学（以下、本学）の学校間の契約として成立します。つまり、本学は公的に実習生を実習校に送ることから、実習生個人の判断で実習先を変更したり、取りやめたりすることはできません。

※実習について相談すべきことが生じたときは、まずは本学の教職担当教員もしくは教務課に相談してください。実習校に直接相談はしないでください。

### (2) 教育実習日程について

内諾(仮契約)の時点で決定した実習日程は、いかなる理由があっても変更できません。また、教育実習期間中に、課外活動の大会や就職試験等が重なっても、実習校にこのような理由により休みを申し出ることはできません。したがって、教育実習の日程については、そうした個人的な用事と重ならないか、各自が事前に十分な注意を払う必要があります。なお、内諾の日程については、各自、教務課で確認するようにしてください。

### (3) 教育実習期間中の就職活動および課外活動について

教育実習は、教員になることを前提にしていますので、教育実習期間中の就職活動および課外活動はできません。

### (4) 実習校の正式な決定について

実習校から内諾書が届いた時点で、本学との仮契約の状態になります。その後、実習年度の4月に本学より実習校に承諾申請をおこなうことで、正式の契約となります。

## 【補足事項】

3年生後期終了時までには、教育実習の内規に合格できない場合、その後、内規に合格すれば、卒業後に「科目等履修生」として、「教育実習」を履修することができます。「科目等履修生」については、教務課に相談すること。

※上記の通り、教育実習は実習校と本学の学校間での契約であるとともに、実習校のご厚情により成り立つものです。安易な教育実習の辞退や準備や心構えの不足した状態で実習に臨むことは多くの関係者へ多大なご迷惑になることを肝に銘じ、真摯に取り組むことを誓ってください。

以上

## 教職課程履修要件内規について（22A・23A）

### 1. 教職課程履修要件内規について

3年次終了時に教職課程履修要件審査があるので、以下の要件を確認して下さい。また、誓約書に反する行動等があった場合や実習校から受け入れにふさわしくないと判断された場合も教育実習を履修することができなくなります。

#### 《経済学部》

経済学部で教職課程を履修している者は、以下の基準を満たせない場合、「教育実習Ⅰ・Ⅱ」、「事前事後指導」および「教職実践演習（中・高）」を履修することができない。

- (1) 3年次終了までに、〈教科に関する専門的事項〉から教免必修科目を含む28単位以上、〈各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）〉〈教育の基礎的理解に関する科目〉〈道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目〉のうち教科教育法を含む14単位以上、ならびに「九州共立大学教職課程履修規程」別表カ（第7条関係）に定める全科目（免許法施行規則第66条の6に関する科目）の単位を修得済みであり、かつ、上記教職関連全科目を含む3年次終了までのGPA（成績評価値）が2.0以上であること。
- (2) 4年前期の「事前事後指導」に関連する教育実習の事前指導を3年後期に受けていること。
- (3) 学則第39条に抵触し懲戒処分を受けた者は、九州共立大学教職課程委員会および各学部の教職課程委員会において、実習参加への諾否を審議する。

#### 《スポーツ学部》

スポーツ学部で教職課程を履修している者は、以下の基準を満たせない場合、「教育実習Ⅰ・Ⅱ」、「事前事後指導」および「教職実践演習（中・高）」を履修することができない。

- (1) 体育実技科目は、3年次終了までに10単位以上修得済みであること。ただし、体育実技科目10単位の中には、「九州共立大学教職課程履修規程」別表オ（教科に関する専門的事項）に定める教免必修科目の体育実技科目を全て修得していなければならない。
- (2) 「教職論」「教育原論」「教育心理学」「教育制度論」「教育課程論」「特別活動・総合的な学習の時間指導法」「特別支援教育概論」「保健体育科教育法Ⅰ」「保健体育科教育法Ⅱ」「保健体育科教育法Ⅲ」「保健体育科教育法Ⅳ」「道徳教育指導法（※中学校での実習を希望する者）」「教育方法論（情報通信技術の活用を含む。）」「生徒・進路指導論」「教育相談」「現代国家と法（日本国憲法）」の単位全てを修得済みであること。  
なお、保健体育科教育法については、Ⅰ～Ⅳを段階的に履修しなければならない。
- (3) 4年前期の「事前事後指導」に関連する教育実習の事前指導を3年後期に受けていること。
- (4) 学則第39条に抵触し懲戒処分を受けた者は、九州共立大学教職課程委員会および各学部の教職課程委員会において、実習参加への諾否を審議する。

※GPAについては、履修ガイドに計算方法が示されています。各自、確認の上、内規要件を満たすよう留意してください。

## 令和7年度（2025年度）後期実施 事前事後指導スケジュール（案）\_学生用

2025.08.27 現在※

事前事後指導（23A 学生） ※履修登録は令和8年度となる		
1	9/22（月）1限	オリエンテーション（事前事後指導・教育実習について、履修カルテ見直し 演習①「教育実習の手引」を活用した指導（服務・マナー等）【B404 教室】
2	9/29（月）1限	演習② 「教育実習の手引」を活用した指導（生徒指導・学級経営等）【B404 教室】
3	10/6（月）1限	演習③ 外部講師講話 北九州市みらい塾 【B404 教室】※学生スーツ着用
4	10/20（月）1限	演習④ 授業づくりのポイント①【B404 教室】
5	10/27（月）1限	演習⑤ 外部講師講話 スクールカウンセラー等との連携について【B404 教室】※学生スーツ着用
6	11/10（月）1限	演習⑥-1 授業づくりのポイント②（グループワークの課題提示）【B404 教室】
7	11/17（月）1限	演習⑦ 外部講師講話 人権教育【B404 教室】※学生スーツ着用
8	12/1（月）1限	演習⑥-2 グループワーク（4グループに分かれての実施）【教室は別途指示する】
9	12/6（土）1限	集中講義② 3・4年合同授業研究会 【教室は別途指示する】
10	12/6（土）2限	集中講義（4グループ） 3・4年合同授業研究会【教室は別途指示する】
11	12/6（土）3限	集中講義④（4グループ） 3・4年合同授業研究会【教室は別途指示する】
12	12/6（土）2限 4限	集中講義⑤（4グループ） 3・4年合同授業研究会【教室は別途指示する】
13	12/6（土）5限	演習⑥ 教育実習に関連する注意事項や心得（過去の先輩たちの事例を参考に）【B404 教室】
14	令和7年度前期	前期教職ガイダンス後の直前指導（全員）【4年次のガイダンススケジュールを確認】
15	令和7年度前期	事後指導：教育実習訪問指導担当教員への実習終了報告、事後レポートの提出

※状況により、スケジュール及び実施内容、利用する教室を変更することがある。

※授業の遅刻、自己都合欠席については減点対象となる（事前申し出のない場合はさらに減点となる）。

※授業重複等の学生は授業代表者の清永まで事前に報告し、指示を仰ぐこと。

※授業についての連絡は UNIPA の掲示機能等を使って行う予定である。UNIPA を 1 日 1 回は確認する習慣をつけること。